

# わくわく地域連携教育だより

下関市教育委員会  
第4号  
令和6年7月23日

## 内日小中学校運営協議会&にこにこネット協議会



7月11日(木)、標記の協議会が開催されました。部会別協議で、「うつい」の頭文字を取った「**う**なずく部会」(知)、「**う**ながる部会」(心)、「**う**きる部会」(体)に分かれて協議をされるのですが、皆さん非常に生き生きと協議されていました。令和6年度より「うつい小中一貫校」(小規模特認校)となり、新しいことにチャレンジしようという気概に溢れていました。お米作りから販売までをキャリア教育の一環で取り組んでおり、子供たち全員による農業用ドローン体験や米袋トートバッグづくりの企画運営を地域の力によって実現させています。今年度は、「うつיים子体操」づくりにも取り組むとのことで、大学教員の力も借りながらどうすれば子供たちが喜ぶ体操になるのか楽しく協議されていました。

にこにこネット(地域学校協働本部)協議会では、「地域カレンダー制作」と「jobフェア」の提案がありました。地域学校協働活動推進員が、カレンダーでつながる「うつい」の意義や価値を熱く語っておられたのが印象的でした。地域・学校・家庭・事業所・個人が情報でつながる「うつい地域情報カレンダー」の作成・運営によって、学校づくりだけでなく、地域づくりの推進にも取り組まれます。「うつい小中学校」の取組は地域の方々を支えられ、オリジナリティに溢れており、まさにわくわくする地域連携教育になっています。

## 夏休み野外活動体験教室(にじいろネット)

7月21日(日)、山の田中学校区のにじいろネット(地域学校協働本部)主催の標記の活動が深坂自然の森にて開催されました。山の田まちづくり協議会、放課後子ども教室、チャイルドサポート共催の国際交流イベントです。幼児と小学生37人、インドネシア漁業実習生11人、保護者、スタッフ合わせて約100名が参加されました。深坂の職員がインストラクターとして関わり、安全面も担保されています。地域学校協働活動推進員を中心に、諸団体との交渉、下見、昼食の食材買出し等、担っておられます。準備は大変だそうですが、子供たちや保護者から「来年度も是非!」との声をいただけるやりがいのある活動と感じておられました。様々な地域団体と連携した素敵な活動です。



「わくわく地域連携教育だより」は、生涯学習課HPにもアップしています。  
ご意見・ご感想がある方は、以下のメールへお送りください。  
shinnai.toshimasa@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

